

大分太平洋鋳業 株式会社

～令和7年9月22日(月) 訪問～ 【津久見市】



大分県の石灰石生産量は日本一であり、特に津久見市は、豊富な埋蔵量と品質の高さから、年間約2,500万トンを生産しています。大分太平洋鋳業株式会社は、「新津久見鋳山」を管理・運営しており、年間約1,100万トンの石灰石を採掘し、親会社である太平洋セメント株式会社大分工場や全国各地に出荷しています。

懇談では、セメント製品の製造で多く発生する二酸化炭素の排出削減に向けた研究開発の取組を伺うとともに、技術開発やエネルギーコストの上昇分を製品価格に転嫁することは、物価と賃金の好循環を実現するためにも重要であるとのこと意見を伺いました。また、市観光協会と連携し、VR映像で鋳山の様子を見られるコンテンツを学校等に提供しており、子どもたちにも好評であるとのことでした。

基幹産業として地域経済をけん引するとともに、雇用の確保にも貢献していただいていることに感謝の意をお伝えしました。



鉱山での採掘から出荷までの流れ 提供：大分太平洋鉱業株式会社

鉱山 模式図

